

大河

母が笑っている、

かつかつ

かつかつと、

母が笑っている

かつかつ

かつかつと、

母が、笑っている。

かつかつ

かつかつと、

母が、笑っている。

かつかつ

かつかつと、

母が、笑っている。

かつかつ

かつかつと、

母が、笑っている。

かつかつ

かつかつと、

男が、脳に侵略をし、

てくる、

休日が灰色になる。

灰色になる。

私は、大河に飲まれる。

大河になっている。

金色の、大河、が私にある。

金色の、

金色の

金色の、元友人がいた。

母が、かつかつと、笑っている。

私は大河のほとりに立っている。

橙、が、黄色になって、

緑、がなって、

お腹が空いた。

お腹が空きました。

咳き込む。咳き込む。

上から下へ大河が流れる。

私の中に、大河があると、

上から下へ大河が流れる。

私の中に、大河があると、

上から下へ大河が流れる。

私の中に、大河があると、

上から下へ大河が流れる。

私の中に、大河があると、

上から下へ大河が流れる。

私の中に、大河がある。

流れている、

流れていく。

顔を下げて歩けません。

顔が自然と、上を向きます。

母がかつかつと笑っているので、

私は、大河の中に母を沈めた。

母は、大河にそって、流れてきえる。

大それた、粗大ごみを燃えるごみの日に出しておこう。

浴衣とか、岡本太郎とか、

そういうのを、捨ててしまおう。

一切の合切という言葉通りに、

一切の合切を捨て去ろう。

ほら、脳に住む男が、ほほえましい顔で、悪態をつく。

細い目の眼鏡男が卑屈な正義感を振りかざす。

金色の、金色の、金色の、金色の、金色の。

金は大河にばら撒いてしまえばいい。

私は大河である。

流れる大河は動かず、流れ、

流れ、流れ、流れ、

どこまでも、

流れ、流れ、流れ、

どこまでも、

流れ、流れ、流れ

どこまでも、

消えて、いくだろう。

消えて、なくなるだろう。

私は選択を行う。

私はあなたを忘れる。

あなたと出会ったことも、忘れる。

あなたを忘れる。

忘れて、忘れて、

母を、捨てる。

私は私の一切の合切を、

極彩の大河に捨て去る。

かつかつと、笑っている母が老衰で死ぬ。

父がやせ細り、肺気腫で死ぬ。

私は自殺を行う。

死因は自殺のみである。

大河に身を投じ、緩慢に死す。

私の中の大河にもまれ、

私は私を忘れ去り、

私は私の中に、埋没する、

私は私の脳の中に住むすべてを殺害し、

自らの名前さも抹殺し、

躊躇なく、首を掻く切らさう。

大河に私の首が落ちるのを、元友人は見ている。

嘆くべき、

悲しむべき

怒るべき、

罵声を浴びせるべきかと、戸惑う顔に、

笑うべきだろう。

と、怒鳴りつけるのだ、

白い花束をほおり投げて、笑うべきだというのだ。

さようなら、

さようなら、

また会いましょう。

私は、選ぶ。

私は選んだ。

大河は私に流れている。